

# 生化学的検査

## 酵素

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
2001	AST(GOT) 3B035-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	17 生化I*	JSCC 標準化対応法	7~36 U/L	溶血検体では正誤差 となります。	【高値】肝炎(急性・慢性) 肝硬変・心筋梗塞 筋ジストロフィー
2002	ALT(GPT) 3B045-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	17 生化I*	JSCC 標準化対応法	5~39 U/L	溶血検体では正誤差 となります。	【高値】肝炎(急性・慢性) 肝硬変・肝癌 アルコール性肝炎
2003	ALP 3B070-0000-023-275	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	IFCC 標準化対応法	成人 38~113 成長期 54~567 U/L	EDTA血漿では負誤差と なるので測定できません。	【高値】肝炎(急性・慢性)・骨疾患・胆石 胆管炎・妊娠(副)甲状腺機能亢進症 【低値】垂乳欠乏・遺伝性ALP血症 (副)甲状腺機能低下症
2004	LD 3B050-0000-023-279	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	IFCC 標準化対応法	124~222 U/L	溶血検体では正誤差 となります。	【高値】肝炎(急性・慢性) 心筋梗塞・悪性腫瘍・腎疾患 血液疾患・筋疾患
2021	LAP 3B135-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	L-ロイシル-D- ニトロアリニド 基質法	男 31~76 女 29~64 U/L	EDTA血漿では負誤差と なるので測定できません。	【高値】肝炎(急性・慢性) 細胆管性胆道閉塞 急性膵炎
2022	コリンエステラーゼ(ChE) 3B110-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	JSCC 標準化対応法	男 221~470 女 184~432 U/L		【高値】糖尿病・ネフローゼ症候群 脂肪肝・甲状腺機能亢進症 【低値】肝実質障害 有機リン系農薬中毒
2023	γ-GT 3B090-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	JSCC 標準化対応法	男 84以下 女 48以下 U/L		【高値】胆汁うっ滞・肝疾患 (肝炎・肝硬変・肝癌)
2154	グアナーゼ 3B125-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	35 生化I	酵素法	0.4~1.1 U/L		【高値】肝炎・肝硬変・肝癌
2160	アデニンデアミナーゼ(ADA) 3B130-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	32 生化I	UV法	5.2~18.6 U/L	溶血検体では正誤差 となります。	【高値】肝炎(急性・慢性)・悪性腫瘍 伝染性単核症 【低値】ADA欠損症・免疫不全症
2032	アミラーゼ 3B160-0000-023-271 3B160-0000-001-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	JSCC 標準化対応法	37~125 U/L		【血中・尿中ともに高値】 膵疾患・唾液腺疾患・肝・胆道疾患 十二指腸疾患・ムンプス感染症 【血中のみ低値】 腎機能不全・マクロアミラーゼ血症 【血中・尿中ともに低値】 膵疾患末期・肝硬変
2033		随時尿 1	6		1~2	11 生化I*		50~500 U/L		
2034	リパーゼ 3B180-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	24 生化I*	酵素法	13~55 U/L		【高値】急性膵炎・慢性膵炎再燃期 膵癌・胆管炎・ERCP後 【低値】膵全摘・慢性膵炎極期
5069	トリプシン 3B185-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	189 生化I	EIA	100~550 ng/mL		【高値】急性膵炎・慢性膵炎・腎不全 【低値】膵疾患(荒唐期)・慢性膵炎 膵切除・1型糖尿病
9284	ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (PLA <sub>2</sub> ) 3B192-0000-023-005	血清 0.3	1	凍結	3~5	204 生化I	RIA (固相法)	130~400 ng/dL		【高値】急性膵炎・腎不全・膵癌(早期) ERCP後 【低値】膵癌・膵全摘後・慢性膵炎

# 生化学的検査

## 酵素

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
2038	CK 3B1010-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	JSCC 標準化対応法	36~188 U/L	溶血検体では正誤差 となります。	【高値】心筋梗塞・心筋炎・筋炎 甲状腺機能低下症・横紋筋融解症 【低値】長期臥床・CK欠損症 甲状腺機能亢進症・リウマチ
2040	アルドラーゼ 3B100-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	UV法	7.0以下 U/L		【高値】肝疾患・心疾患・筋疾患 膵膵炎・甲状腺機能低下症 【低値】果糖不耐症
9303	リゾチーム 3B255-0000-023-292 3B255-0000-001-292	血清 0.4	1	冷蔵	3~5		比濁法	5.0~10.2 μg/mL		【高値】骨髄性白血病 多発性骨髄腫・慢性腎不全 【低値】リンパ性白血病
9304		尿 0.4	6	冷蔵	3~5			0.1未満 μg/mL	【高値】サルコイドーシス 尿細管障害	
2162	NAG 3B330-0000-001-272 3B330-0000-004-272	随時尿 1	6	冷蔵	1~3	41 尿・便	MPT基質法	11.0以下 U/L		【高値】糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 糖尿病性腎症
2164		蓄尿 1						5.0以下 U/L		
9085	アンギオテンシンI転換酵素 (ACE) 3B325-0000-023-271	血清 0.7	1	冷蔵	3~5	140 生化I	比色法 (笠原法)	8.3~21.4 U/L	血漿では測定できません	【高値】活動性サルコイドーシス・珪肺症 甲状腺機能亢進症・肝炎・肝硬変 【低値】クローン病・慢性リンパ性白血病 多発性骨髄腫・肺結核
9302	デオキシチミジンキナーゼ (チミジンキナーゼ活性) 2C105-0000-023-051	血清 0.5	1	凍結	5~7	233 血液	CLIA	7.5以下 U/L		【高値】急性白血病・悪性リンパ腫 ATL・多発性骨髄腫・ウイルス感染 悪性腫瘍
2094	SOD (スーパーオキシディスムターゼ) 3B310-0000-023-271	血清 0.5	1	凍結	不定期		改良亜硝酸法	U/mL	溶血で高値	【高値】卵巣癌・肝癌・肝疾患 胃癌などの悪性腫瘍・肝炎 原発性胆汁性肝硬変・心筋梗塞

\* 血液化学検査の包括 1回に採取した血液を用いて5項目以上の検査を行った場合  
5~7項目：93点 8・9項目：99点 10項目以上：106点

※ デオキシチミジンキナーゼ(TK)活性は、造血器腫瘍の診断又は治療効果判定のために行った場合に算定する。

